

平成27年度 東洋学研究情報センター機関推進プロジェクト実施報告書

※この報告書はHPなどで公表されます。

1. プロジェクト名 日ネ協会旧蔵資料データベース最終調整

2. 申請研究者

(氏名) 名和克郎 (所属・役職) 比較文献資料学分野・教授

3. 研究期間

平成27年4月1日から平成28年3月31日(1年間)

4. プロジェクトの趣旨、全体計画(400字程度)

社団法人日本ネパール協会の旧蔵資料は、1950年代から70年代初頭に主にネパール国内で出版されたネパール語及び英語の多様な書籍・パンフレット等からなる、貴重なコレクションである。本プロジェクトは、同資料についての基本的なデータベースを作成することを目的とした一連のプロジェクト「日ネ協会旧蔵資料データベース構築」、「日ネ協会旧蔵資料データベース拡充」、「日ネ協会旧蔵資料データベース整備」を受け継ぎ、申請者の長期海外出張等のため大幅に遅れていた、データベース公開のための最終的な諸作業を行うものである。

5. 今年度の研究実施状況(400字程度)

昨年度までの作業を基盤として、データベースの公開に向けたさらなる作業を行った。具体的には、紙質が低下しているものも多い各種資料のスキャンを順次進めると同時に、以前のセンター機関推進プロジェクト「日ネ協会旧蔵資料データベース構築」で作成したシステムに残っていた検索上の不具合を修正した。併せて、これまで行った書誌情報及びスキャン画像の内容の確認、画像データと現物との照合、公開のための画像データの微調整、等を行った。なお、資料のスキャンと整理のためアルバイトを雇用し、ウェブ公開の為のシステムの改修については外注した。

6. 今年度の研究成果の概要(400字程度)

データベースの資料の検索に関しては、ネパール語、サンスクリット等の厳密な転写に必要な補助記号等を省き、通常ネパール語の発音にほぼ対応した大まかな転写法(記号を省くと通例異なったローマ字で書かれる場合があるため実体はかなり複雑である)にもほぼ対応する形での検索が可能になることを主眼として、利便性を向上させた。さらに、資料の画像については、解像度を選択したブラウザ上に順次表示出来る機能を追加し、それに基づいて画像のアップロードを開始した。これらの画像については、現在のところデータベース本体とは別のパスワードをかけている。本年度中には、まず所内限定でデータベースの試験公開を行う予定である。また、資料スキャンの範囲を、これまで行って来たネパール語資料に加えて英語資料にも拡大した。